

チャージャーケース

取扱説明書



スターキージャパン株式会社

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-6-23 3F

Tel.045-475-9701 Fax.045-475-9706

www.starkeyjp.com

© 2020 Starkey Japan. All Rights Reserved. BKLT0089-00-JJ-JP JPYBK-089

2020年6月作成



目次

はじめに	4
各部の名称	4
補聴器の充電	6
チャージャーケースの蓄電	8
チャージャーケースのお手入れ	9
ドライカプセル(乾燥剤)	10
電源のオン/オフ	10
トラブルシューティング	11
安全性情報	14
認証情報	17



耳かけ型用



耳あな型用

はじめに

チャージャーケースは、リチウムイオン電池を使用した充電式補聴器を充電するために設計された、補聴器の保存ケースにもなる充電器です。コンセントに差し込んで充電器として使用したり、チャージャーケース自体を充電して、出先で補聴器を充電することもできます。

チャージャーケースは、耳かけ型専用と耳あな型専用の2種類があります。充電ポートの形状が異なりますので、必ず専用のチャージャーケースであることをご確認ください。



各部の名称

1. ドライカプセル(乾燥剤)ホルダー*
2. 清掃ブラシ
3. 収納トレイ*
4. 充電ポート(補聴器を置く場所)
5. 表示ランプ(補聴器の充電状態)
6. 表示ランプ(充電器の蓄電状態)
7. マイクロUSB 差し込み口



*耳かけ型用のみ



補聴器の充電



上の図の通り、補聴器をチャージャーケース内に設置します。

耳かけ型用：耳栓やイヤモールドが本製品の内側に向かって収まるように置く。

耳あな型用：フェイスプレート（充電端子  が付いている面）を下に向けて置く。

自動的に補聴器の電源が切れ、充電が始まります。

注：表示ランプの状態：

- **緑色**に点滅：充電中
- **緑色**に点灯：フル充電*
- **赤色**に**点滅**：エラー状態（本製品から補聴器を取り外し、表示ランプが消えるまで待ち、再び補聴器を充電ポートに載せます。エラー状態が続く場合は、補聴器販売店にお問い合わせください。）

* コンセントに接続せず充電している場合、電池の消耗を避けるために、フル充電されると表示ランプが消えます。

ふたの開閉に関わらず、充電は行われます。

補聴器は3時間半程度でフル充電されます。

フル充電された後は、補聴器を本製品内に保管する、または電源が切れていることを確認してから、保管用ケースに保管することをお勧めします。

長期間（例えば、1週間以上）補聴器を装用しない場合は、本製品をコンセントから抜いて、充電ポートから補聴器を取り外しておくようにしてください。補聴器は本体の操作ボタンを3秒間ほど長押しして、手動で電源を切ってから本ケース内で（耳かけ型は収納トレイに）保管するようにしてください。

補聴器を充電ポートから取り外すと、自動的に電源が入ります。

コンセントに接続せず補聴器が充電される場合、補聴器がフル充電されると表示ランプが消えます。

本製品がコンセントに接続されていない状態で表示ランプをリフレッシュ（再表示）させるには、補聴器を充電ポートから3秒間ほど取り外し、再び充電ポートに設置します（表示ランプは10秒間ほど点灯してから消えます）。

チャージャーケースの蓄電

本製品をコンセントに差し込みフル充電させると、すべての表示ランプ(4つ)が点灯します。

コンセントに接続せず本体だけで補聴器を充電すると、表示ランプは10秒後に消えます。

このようにコンセントに接続していない状態で表示ランプをリフレッシュ(再表示)させるには、補聴器を充電ポートから3秒ほど取り外し、充電ポートに再び設置します(表示ランプは10秒ほど点灯してから消えます)。

- ランプ4つが点灯：75%以上の充電
- ランプ3つが点灯：75%以下
- ランプ2つが点灯：50%以下
- ランプ1つが点灯：25%以下
- ランプ1つが点滅：充電低下

本製品を蓄電している間、表示ランプ4つが以下のようになります：

- 充電中は明るく点灯しています。
- フル充電されると点灯が暗くなります。

チャージャーケースのお手入れ

- 本製品をきれいな状態に保ちましょう。高温、多湿、異物などは性能の劣化につながります。
 - 乾いたキレイな布で充電器を拭き、充電ポートに付着物がないことをご確認ください。
 - 充電ポートを掃除するとき、水、液体、または洗剤などのご使用はお止めください。
 - 塵やホコリの蓄積を防ぐため、できるだけ本製品のフタは閉じておいてください。
 - 本製品は、乾燥したキレイな場所に保管してください(例えば、脱衣場やキッチンよりも洋服ダンスや戸棚など)
- 補聴器や本製品の充電電池を長持ちさせるためには：
 - 補聴器の充電電池は毎晩フル充電させるようにしてください。
 - 過度の高温にさらすことはしないでください。(例えば、窓台や熱い車内に放置することなど。)

ドライカプセル（乾燥剤）

耳かけ型では、フタの部分にあるホルダーに専用の乾燥剤（ドライカプセル）を取り付けて、保管時に補聴器内の水分や湿気を吸収させます。耳あな型は、ドライカプセルをケース内に置いてご使用ください。ドライカプセルは水分を吸収することで、青やピンクから非常にうすいピンクまたは透明に変化します。透明になると新品との交換が必要です。

ドライカプセルは6個パックで別途購入が可能です。使用状況により異なりますが、使用目安は6個パックで2～3ヶ月間です。

電源のオン/オフ

- 自動**
- 充電ポートから補聴器を取り外すと自動的に補聴器の電源が入ります。
補聴器を装着した後に電源が入る場合があります。
 - 充電ポートに差し込むと自動的に補聴器の電源が切れて充電が開始されます。
- 手動**
- 補聴器の操作ボタンを3秒間ほど長押しすることで電源のオン/オフ（入/切）ができます。
補聴器を装着した後に電源が入る場合があります。

トラブルシューティング

本製品に故障や性能低下が疑われる場合は、以下のトラブルシューティングの解決策を先ずはお試ください。解決しない場合は、本製品をご購入された補聴器販売店にご相談ください。

症状/問題	考えられる原因	解決策
補聴器を充電ポートに置いても表示ランプが点灯しない	チャージャーケース本体の蓄電切れ	マイクロUSBをチャージャーケースに接続し、コンセントに差し込みます 表示ランプが2、3秒間点灯し、電力供給されたことを示します もし、反応しなかった場合は、販売店にお問い合わせください
	補聴器の向きが反対	もう一度、補聴器を充電ポートに設置し直してください 補聴器の配置は左右反対に充電ポートに設置されても問題無く充電できます

症状/問題	考えられる原因	解決策
補聴器の充電を示す表示ランプが赤く点滅	故障の可能性	充電ポートから補聴器を取り外し、表示ランプが消えるまで待ってから、再び充電ポートに設置します 表示ランプの赤い点滅が続くようでしたら、販売店にお問い合わせください
コンセントとの接続なしで充電中、表示ランプが点灯しない	セーブモード	表示ランプを再表示させるには、充電ポートから補聴器を3秒間ほど取り外してから、再び充電ポートに設置します 補聴器との充電を示す表示ランプと、充電器の充電を示す表示ランプの両方が10秒ほど点灯します

症状/問題	考えられる原因	解決策
チャージャーケース内で補聴器がピーピー鳴っている	補聴器の向きが反対	耳かけ型補聴器の耳栓/イヤモールドが本製品の収納トレイに収まるように、補聴器の充電ポートに設置します 表示ランプが点滅し始めたら、充電していることが確認できます
	チャージャーケース本体の蓄電量切れ	チャージャーケースをコンセントと接続しないで使用すると充電切れになります 本製品をコンセントに差し込みます もし充電用コードを持ち合わせていないため充電できない場合、補聴器の操作ボタンを3秒ほど長押しして電源を切り、補聴器の充電を節約します

安全性情報

使用目的

本製品は、リチウムイオン充電電池を使用している補聴器の充電に使用されます。

本製品は、一般家庭環境での使用を想定し医療機器の国際的なEMC（電磁両立性）試験の最も厳しい基準に適合するように設計されています。ただし、送電線からの電磁波、空港の金属探知機、他の医療機器からの電磁波、無線信号、静電気放電などによって干渉を受ける可能性があります。

本製品が除細動器やペースメーカーといった植込み型医療機器を干渉すると懸念される場合は、医師または医療機器メーカーにご相談ください。

本製品をMRI検査室や高圧室内では使用しないでください。

本製品は炭鉱や化学工場といった環境下での使用は認められていません。

本製品は以下の温度範囲で設計されています。

- 動作時: 0~+40°C (32~104°F)
- 保存場所: -10~+45°C (14~113°F)、湿度 < 95%

注意:

- 本製品が熱くなっている場合は、冷めるまで触らないようにしてください。
- 本製品が作動しなくても、分解しないようにしてください。感電する危険性があるため、修理に出すようにしてください。
- お子様の手が届かないところに保管してください。パッケージ内の乾燥剤やお手入れ用品などは食べられません。

警告: 本製品を他の電子機器のすぐ近くで使用しないでください。本来の性能を発揮できない可能性があります。やむを得ず使用する場合は、補聴器と電子機器が正しく機能していることを確認してください。

警告: 本製品に製造元以外の部品を使用すると、製品の性能の低下につながる可能性があります。

警告: 付属のACアダプターは本製品専用です。他の機器に接続して使用しないでください。

警告: ポータブル無線周波数通信機器を補聴器またはチャージャーケース（充電器）から30cm（12インチ）以内で使用すると、補聴器またはチャージャーケースの性能が低下する可能性があります。このような場合は、通信機器から離れてください。

本製品には、使用者が自分自身で交換できる部品は含まれていません。本製品を分解や改良することはできませんので、ご注意ください。

本製品はIEC60529の国際保護等級であるIP5Xに準拠しており、防塵対応されています。

本製品の耐用年数は3年間です。

The Charger has been tested to, and has passed, the following emissions and immunity tests:

- IEC 60601-1-2 radiated and conducted emissions requirements for a Group 1 Class B device as stated in CISPR 11.
- Harmonic distortion and voltage fluctuations affecting the power input source as stated in Table 2 of IEC 60601-1-2.
- RF radiated immunity at a field level of 10 V/m between 80 MHz and 2.7 GHz as well as higher field levels from communications devices as stated in Table 9 of IEC 60601-1-2.
- Immunity to power frequency magnetic fields at a field level of 30 A/m.
- Immunity to ESD levels of +/- 8 kV conducted discharge and +/- 15 kV air discharge.
- Immunity to Electrical fast transients on the power input at a level of +/- 2 kV at a 100 Hz repetition rate.
- Immunity to Surges on the power input of +/- 1 kV line to line.
- Immunity to conducted disturbances induced by RF fields on the power input as stated in Table 6 of IEC 60601-1-2.
- Immunity to voltage dips and interruptions on the power input as stated in Table 6 of IEC 60601-1-2.

認証情報

Starkey Hearing Technologies

6700 Washington Ave. South
Eden Prairie, MN 55344 USA 



Starkey Laboratories (Germany) G.m.b.H Weg
beim Jäger 218-222 22335 Hamburg Germany

クラスII 機器



電子機器からの廃棄物は、
地域の規則に従って処理する
必要があります。



取扱説明書を参照



古い電子機器の廃棄手順

Starkey Hearing Technologiesは、お住まいの地域の法律に従って本製品を廃棄することを推奨しています。

以下は、お住まいの地域の廃棄/リサイクル担当者へのアドバイスになります。本製品を廃棄する際、必要に応じてこの取扱説明書を一緒にお渡しください。

廃棄/リサイクルご担当者様

本製品には、リチウムポリマー電池が含まれています。本製品の電池を取り外す必要がある場合には、以下の方法で行ってください：

- 本体の底にある4つの滑り止めパッドを取り外して、留め具を出します。
- 留め具を十字ねじ回し（フィリップス型+ドライバー）を使用して取り外します。
- 本体を枠から取り外し、充電電池を露出させます。
- 隣接する電池がショートしないように、電池のリード線3本を一度に切ります。
- マイナスドライバーで電池を破裂させないように気を付けながら充電電池を取り出します。

